

おすすめ E-Book リスト(研修医むけ)

本学契約 E-Book のなかから、研修医の先生方におすすめの図書をピックアップしました。

『青字タイトル名』で「国際医療福祉大学図書館 HP」(<https://www.iuhw.ac.jp/library/>)または「インフォナビ」(<http://sfx5.usaco.co.jp/iuhw/az/all>)「電子ブック」を選択して検索してください。



※ PDF 入手・利用は提供元・タイトル毎に制限があります。ダウンロード時表示の利用規約を遵守してください。

	<p>『イラスト解剖学 第 10 版』中外医学社, 2021(912p) トライアル中に利用がとて多かった本。イラストがとにかくユニーク。進化を続けて改訂10版。</p>		<p>『手・足・腰診療スキルアップ 2版』 CBR, 2021(260p) 2004 年に初版を発行後ベストセラーから17年ぶりの改定。イラストが多く、非整形外科専門医にも分かりやすい。</p>
	<p>『すぐに使える リウマチ・膠原病診療マニュアル』羊土社, 2009 (335p) 正統的な内科的筋骨格系診察の良書。リウマチ・膠原病を疑う場合のアプローチ方法がわかる。E-Book なら本文中の語句でも検索できて写真も探しやすい。</p>		<p>『めざせ！外来診療の達人 第 3 版』日本医事新報社, 2010(219p) 前半は総論、後半は各論(症例検討)。診断推論活用の具体例として後半から先に読むのもあり。ポイントを突いた効率的・効果的な問診方法がわかる</p>
	<p>『手軽にとれる小児神経所見 カラーイラスト図解』文光堂, 2011 (111p) カラーイラストが多く、異常所見から疑われる疾患もまとまっている。神経所見のとりかたを学び始める入門書として最適。</p>		<p>『ビジュアル基本手技第 4 巻(写真とイラストでよくわかる!注射・採血法)』羊土社, 2012(220p) 医師向けの注射・採血法の手技本の決定版。目次が細かいので E-Book でも読みたい箇所が見つかりやすい。</p>
	<p>『当直ハンドブック Ver.2』中外医学社, 2022(540p) 当直、救急外来で研修医や若手医師が遭遇する疑問を 2 分で解決。E-Book でも使いやすい実践的ハンドブック。</p>		<p>『臨床の力と総合の力 ジェネラリスト診療入門』シービーアール, 2008(184p) 診断学の考え方の大元となる、もの見かたの本。具体例から構造を実地にそって解き明かす。総合診療や医学教育に興味がある方にもお勧め</p>

※提供元 MEL:丸善 E-Book Library MOL:Medical*Online E-Books Library

 <p>MEL MOL</p>	<p>『診断のゲシュタルトとデギュスタシオン』金芳堂, (293p) 疾患別の章立て。執筆者も章ごとに異なるので、どこから読んでもよい。各疾患のイメージ、全体像、鑑別診断のポイントを解説。IIもある。</p>	 <p>MOL</p>	<p>『ダ・ヴィンチのカルテ Snap Diagnosis を鍛える 99 症例』 CBR, 2012(211p) テーマはレオナルド・ダ・ヴィンチの「単純であることは究極の洗練である」という言葉。「直感的診断」を裏打ちする「本質抽出力」を磨くための選りすぐりの 99 症例を収載。</p>
 <p>MOL</p>	<p>『3秒で心電図を読む本』メディカルサイエンス社, 2010(172p) 2010年に発刊され2018年に第23刷というロングセラー実践的心電図判読方法の本。</p>	 <p>MOL</p>	<p>『あなたが心電図を読めない本当の理由』文光堂, (99p) 続・続々もある3部作。心電図が読めない理由を英会話やダイエットができない理由に例え、実践的判読を提唱。</p>
 <p>MEL</p>	<p>『竜馬先生の血液ガス白熱講義 150分』中外医学社,2017(149p) 「2時間半で血液ガスをまるっと全部わかっちゃおう」趣旨のセミナー書籍化。講義形式で読みやすく、2色刷りのスッキリした見た目、ポリウレタンにもE-Bookでも読みやすい。</p>	 <p>MOL</p>	<p>『最新 尿検査 その知識と病態の考え方 第3版』メディカル・ジャーナル社, 2021(163p) 「尿検査」についての原理・手順・結果とその解釈を体系的に学べる。図版で視覚的にわかりやすく、尿沈渣の写真も豊富。尿検査の歴史も記載。</p>
 <p>MEL</p>	<p>『「型」が身につく蛋白尿・血尿の診かた・考えかた』日本医事新報社, 2021(364p) 非専門医が尿検査に抱きやすい素朴な疑問、蛋白尿・血尿への漠然とした苦手意識解消のための本。目次から各章内容が推測しやすいので気になるところから読み始めてもよい</p>	 <p>MEL</p>	<p>『よく出会う18症例で学ぶプレゼンテーションの具体的なポイントとコツ』三輪書店, 2013(225p) 天理よろづ相談所病院早朝カンファレンスの様子を再現。基本のルールから具体的なポイントまで記載、ほめられプレゼンテーションが身につく。</p>
 <p>MOL</p>	<p>『英語のカルテで鑑別診断に強くなる』 CBR, 2005(163p) 典型的な症候で受診するコモン・ディーズの症例とそれについてのディスカッションも英語で記載。E-Bookならを語句から言い回しを検索することもできる</p>	 <p>MEL</p>	<p>『医療者のためのコミュニケーション入門』精神看護出版, 2005(123p) 著者は医療コミュニケーション学の専門家。コミュニケーション学の基本的事項や基本用語を具体例を通じて分かりやすく解説。通読しやすいボリューム。</p>
<p>「eリソースコネクト(要登録申請)」または「SSL-VPN サービス」経由で院外端末からでも利用可能です。 新規アカウント登録希望の方は成田病院図書室に申請書をご提出ください。 申請書は大学図書館サイト内からダウンロードできます。 ※ 医学部教職員は「eリソースコネクト」ではなく「SSL-VPN サービス」をご利用ください。 国際医療福祉大学成田病院 図書室</p>			
<p>リモートアクセス 申請書ダウンロード →</p> 	<p>eリソース コネクト ログイン →</p> 	<p>eリソースコネクト 使い方ガイド →</p> 	